

イエバエ

油断すると大発生する虫



近年ハエは、夏になっても一般家屋内で見ることが少なくなりました。

しかし、イエバエは 高温・多湿で、餌(産卵場所)があれば、大量発生します。最近では、臨海部や多摩地区に発生例があります。

被害

発生地区周辺のビルや家屋にハエが侵入し、人に不快感を与えることがあげられます。

また、ハエは、生ゴミ等の不潔な場所に発生し、食器類や食品の上を歩き回るので、伝染病や食中毒の媒介に深く関係します。

対策

大量発生の予防には、発生源対策が最も大切です。また、家屋内に侵入したハエは、ハエたたきやハエ取りリボン等で捕獲し、処分します。一般家庭の侵入防止には、網戸を取り付けたり、ビルでは、出入口にエアーカーテンを設けると効果的です。

【生ゴミ容器とゴミ置場の管理】

- 1) 生ゴミ容器は、蓋が密閉のできる清潔なものを使う。
- 2) 容器の蓋を開けたまま放置しない。
- 3) ゴミ置場を定期清掃する。



ハエの幼虫(体長約10mm)

小さな
蛹(ニクバエ)



成虫(体長6~8mm)



ゴミ箱のイエバエ



食器につくハエ

食品に混入したハエ

(写真提供: 東京都)